

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【公表番号】特表 2019-500834 (P2019-500834A)

【公表日】平成 31 年 1 月 10 日 (2019.1.10)

【年通号数】公開・登録公報 2019-001

【出願番号】特願 2018-528025 (P2018-528025)

【国際特許分類】

H 0 2 M 3/07 (2006.01)

H 0 2 N 1/04 (2006.01)

H 0 2 N 2/18 (2006.01)

H 0 2 K 11/04 (2016.01)

H 0 2 K 11/21 (2016.01)

H 0 1 L 41/04 (2006.01)

H 0 1 L 41/113 (2006.01)

H 0 1 L 41/047 (2006.01)

【F I】

H 0 2 M 3/07

H 0 2 N 1/04

H 0 2 N 2/18

H 0 2 K 11/04

H 0 2 K 11/21

H 0 1 L 41/04

H 0 1 L 41/113

H 0 1 L 41/047

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機械的駆動に応じて電力を発生する発電機と、

前記発電機の出力を電力変換するスイッチトキャパシタ電力変換機であって、複数のキャパシタのバンクとスイッチ装置とを有する、スイッチトキャパシタ電力変換機と、

前記スイッチ装置を制御するコントローラであって、前記発電機からのフィードバック信号に基づいて、複数のスイッチを制御して、前記複数のキャパシタのバンクの構成を、直列構成から並列構成に変化させ、

前記発電機は摩擦電気発電機を含み、

前記発電機は、回転子と固定子とを備える回転ディスク摩擦電気発電機を備え、前記フィードバック信号を生成する回転子及び / 又は固定子パターンが設けられている、

システム。

【請求項 2】

前記回転子または固定子は、各々が半径方向セグメントを含む複数の発生電極のリングであって、異なるセグメントが互いに絶縁されたものと、フィードバック信号を生成する電荷生成制御電極のセットとを含む、

請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記電荷生成制御電極は生成電極の周囲に配置される、

請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記電荷生成制御電極は隣接する半径方向セグメントの間に配置される、

請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 5】

エネルギー生成または変換方法であって、

発電機が、機械的駆動に応じて電力を発生することと、

複数のキャパシタのバンクとスイッチ装置とを有するスイッチトキャパシタ電力変換機が、前記発電機の出力を電力変換することと、

前記発電機からのフィードバック信号を用いて、前記スイッチ装置を制御して、前記複数のキャパシタのバンクの構成を、直列構成から並列構成に変更することとを含み、

前記フィードバック信号が、回転ディスク摩擦発電機の回転子および／または固定子パターンを用いて生成され、前記回転子または固定子は、各々が半径方向セグメントを含む複数の発生電極のリングであって、異なるセグメントは互いに分離されているものと、フィードバック信号を生成する電荷生成制御電極のセットとを有する、

方法。